

電柱に浸水深の表示設置 元和泉2・3丁目町会

元和泉2・3丁目町会が市民提案型市民協働事業として、水害時に想定される浸水の深さと、実際の水位を示すテープ（写真下）を電柱17本に取り付けた。



同町会では、令和元年の台風19号の後に行ったアンケートを元に、日常から浸水する高さや自宅の相対的関係を可視化しておくことが重要と考え、プロジェクトとして令和3年に粕江市に提案、昨年夏に取り付けられた。

11月には専修大学の矢根淳教授を招き、災害時の目線で地域の防災について点検する「まちあるき」を催すと同時に、防災マップも作成した。

プロジェクトの完了後にもアンケートを実施、浸水深のテープの効果は高かったものの、3mと4mのテープは気付かない人が多

かった。町会では、広報活動の必要性や表示板の改良、電柱本数拡大などを今後の課題としている。

19日にお別れ食卓 子どもの多摩里食堂

活動を休止する子どもの多摩里食堂（西尾圭代表）が、19日（日）正午から午後1時30分まで岩戸地域センターで小学生限定の「春のお楽しみ会」（粕江市共催、粕江市社会福祉協議会後援）を開催、参加者を募集している。

同会は、市内で2番目の子ども食堂として「みんなで食べると、もっとおいしい」をモットーに平成28年に発足。東和泉にあるボランティアの家を拠点に定期的にバラエティーに富んだ食事を提供するほか、子ども食堂への市民の理解を深めるため、市と共催でクリスマス会などを催してきた。コ



— 昨年のクリスマス会



ロナ禍の時は主にひとり親家庭などに弁当や食材を提供してきた。現在60代後半から85歳の女性9人で活動しているが、会員の高齢化と減少、活動場所の確保、新型コロナウイルス感染症の対策などで継続が困難と判断、市内に子ども食堂が増えてきたこともあり、活動休止を決めたという。

当日は食事とデザート（いずれもアレルギー対応不可）を提供するほか、ライブ演奏、紙切りの実演がある。参加申し込みは、子どもの名前と小学校名、学年、アレルギーの有無、保護者名、当日連絡が取れる保護者の電話番号、住所を書きEメール [Mkodomonotamari@gmail.com](mailto:kodomonotamari@gmail.com)へ。定員は先着30人。

同会では「コロナに負けず子どもたちの健やかな成長を願うイベントにしたい」と話している。

食品をフードバンクへ 社会福祉法人連絡会が寄贈

市内に事業所を置く7つの社会福祉法人でつくる粕江市社会福祉法人連絡会（会長：富永浩正・粕江保育園園長）は1月26日（日）に特定非営利活動法人フードバンク粕江（田中妙幸理事長）へ食品約326kgを贈った。

各法人の施設では、利用者などから令和3年からインスタント食品やレトルト食品、菓子などを集めてフードバンク粕江へ贈っており、今回は前年の約5倍に達した。

田中理事長は「物価高にあえぐ家庭が増えており、すごくありがたいです」と喜び、富永代表は「各



フードバンクに贈られた食品

法人が連携して地域のために活動しており、お役に立てればうれしい」と話していた。

子どもたちの力作を展示 和紙はり絵リモート作品展

子どもたちが伝統文化を体験・習得する文化庁伝統文化親子教室事業として、市内在住の創作貼り絵作家・渡辺順子さんが主宰する「手漉き和紙の会」による和紙はり絵リモート作品展（粕江市共催）が1月からスタート、ホームページでさまざまな作品を展示している。

渡辺さんは、平成9年に伝統和紙を手でちぎる「ちぎり絵」と、はさみを使って作る「切り絵」を融合した創作貼り絵を始め、個展で作品を発表するほか、出版、教育デザイン、テレビなどで幅広い活動を展開、12年には貼り絵のホームページを開設した。また、11年にこまえ創作はりえの会を結成して市内をはじめ各地の小学校や高齢者施設などではり絵指導を行っている。

リモート作品展では幼児や小学生などが花や動物、風景、季節の行事などを描いた力作を見ることができ。リモート作品展ホームページ→



作品展のホームページ

昨年1年間に前年と同じ17件の火災が発生、焼損床面積は前年より120㎡多い153㎡で、死者が1人、負傷者は前年と同じ4人が発生した。

出火原因は電気機器関係が最多で5件、ガス機器が

4件、放火が3件発生した。同署では、電気機器による火災は火を使用している意識がなく、気付にくいのが特徴で、防ぐポイントとして○電気コードを家具の下敷きにしたり、束ねて使用しない○プラグはコンセントにしっかり差し込み、プラグ、コンセント等が変型していないか定期的に点検する○電源タップは決められた容量内で使う○電気ストーブの周りに可燃物を置かないなどの対策をあげている。

問い合わせ☎3480-0119粕江消防署。

電気は正しく使って防火を 7日まで春の火災予防運動

1日（日）から7日（土）まで春の火災予防運動が行われる。

粕江消防署では3日（金）午前11時から粕江市役所で消防演習を実施する。5日（日）午前10時～午後2時に粕江消防署で消防ふれあい広場を開催する。ミニ防火衣裳体験、ミニ消防車運転、初期消火訓練、ポンプ車展示、絵手紙や家具転キャッチコピー最優秀作品掲示などを行う。

粕江消防署によると、市内では



こまえくぼ 1234 からのお便利

今月のこまえくぼ

休館日 = 7日（日）、14日（日）、21日（日）、28日（日）

おもいをカタチに

こまえくぼ1234が市民、市民活動団体を対象に主催、共催する事業

■学ぼう@こまえくぼ 団体向け講座「カリスマ講師に学ぶ ボランティア・市民活動団体のための人が集まるチラシと広報のコツ」

5日（日）午前10時～正午（日）ボランティア・市民活動団体、地域活動団体、興味のある人 定員20人（手話通訳、要約筆記あり）無料 参加申

ここに掲載している情報についてはこまえくぼ1234へお問い合わせください。

込書に必要な事項を記載してFAX、または申込フォーム（右の2次元コード）から



フリースペースイベント

フリースペースで行われる参加できるプログラム

■おりがみサロン
1日（日）午後1時～3時。折り紙でボランティア活動、交流

■切手カフェ
10日（日）・17日（日）午後1時～3時。古切手の整理

■わたしたちはここにいるよプロジェクトパラアート展
8日（日）～22日（日）。障がい者理解のための「わたしたちはここにいるよ

プロジェクト」によるパラアート展

お知らせ

■令和4年度ボランティア保険補償期間満了、令和5年度ボランティア保険加入受付開始

日本国内でのボランティア活動中の本人の事故等によるケガや、人や物に対する損害を補償する令和4年度ボランティア保険が31日（日）で補償期間満了となります。令和5年度ボランティア保険加入を希望される方は、1日（日）から市民活動支援センター及び粕江市社会福祉協議会（あいとぴあセンター内）で加入受付を開始しています。

ドキュメンタリー映画「もうろうをいきる」 スポット

粕江市障害者団体連絡協議会（伊藤聡子会長）が26日（日）午後1時30分から西河原公民館でドキュメンタリー映画「もうろうをいきる」上映と西原高至監督と企画制作に携わった視覚障がい者で東京大学先端科学技術研究センター特任研究員の大河内直之さんの対談会を開催する。



同協議会は平成8年に発足し、現在は粕江市身体障害者福祉協会、粕江市手をつなぐ親の会、粕江精神保健福祉家族会「粕江さつき会」で構成、関係機関や障がい者団体との連携を図り、「障がいのある人となない人が共にいきいきと活動できる社会」の実現に寄与する活動をしている。この映画は市民を対象に「他者を知る」シリーズの第一弾として企画したもの。平成29年に公開された目も耳も不自由なため指でコミュニケーションを取る複数のもうろう者の日常生活を追った91分のドキュメンタリー。続編にあたる「コロナ禍の中での生活」（30分）も上映する。粕江市と粕江市社会福祉協議会が後援する。入場は無料。問い合わせ☎080-9564-1737、Eメール [Mksdr3226eiga@gmail.com](mailto:ksdr3226eiga@gmail.com) 粕江市障害者団体連絡協議会 松村さん。